

# 職 務 経 歴 書

2023年●月●日現在

氏名 ●●●●

■ 職務要約(現職)

- ・2020年4月 ●●県入庁 県土整備局 事業管理部 用地課に配属
- ・2023年4月 総務局 総務室 ●●県税事務所へ異動 現在に至る

期間	業務内容
<p>■ 職務経歴</p> <p>勤務先 : ●●県</p> <p>在籍期間: 2017年4月～現在(6年●ヶ月在籍)</p> <p>事業内容: 県民サービス全般</p> <p>従業員数: ●名</p>	
<p>2020年4月～ 2023年3月</p>	<p>◆ 配属先/役職/役割</p> <p>・県土整備局 事業管理部 用地課/主事/用地グループ</p> <p>◆ 職務内容</p> <p>① 損失補償基準等の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 個々のケースに合わせた損失補償に関する基準策定</li> <li>※複雑難解な法規に則って策定</li> </ul> <p>② 公共事業用地の取得・物件移転補償の審査及び指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 地権者との折衝</li> <li>※粘り強く地権者と折衝</li> </ul> <p>◆ 実績</p> <p>① 用地取得に成功</p> <p>〈実績補足〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前担当者が地権者と折衝した際は全く進展がなかったが、自身が担当になってから1年以内に用地の取得に成功。</li> <li>・役所都合での説明ではなく、地権者に寄り添うことで信頼関係の構築に成功。</li> </ul> <p>加えて、粘り強く地権者の元に通うことで忍耐力と折衝力が身につく。</p> <p>② 業務に関する知識習得</p> <p>〈実績補足〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑難解な法令を理解し業務に落とし込むべく、自ら業務に関連する書籍を購入し、積極的に知識習得に努めた。</li> </ul>
<p>2023年4月～ 現在</p>	<p>◆ 配属先/役職/役割</p> <p>・総務局 総務室 ●●県税事務所へ異動/主事/課税担当</p> <p>◆ 職務内容</p> <p>・課税に関する事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 所得に応じた税額の算定</li> <li>※税に関する法規に則り税額算定</li> </ul> <p>◆ 実績</p> <p>・税額算定に関する業務において、ミス無く正確に遂行</p> <p>〈実績補足〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税をはじめ、複雑な制度が多岐に渡る中、ミス無く正確に業務遂行が出来る。</li> <li>・他自治体とタイムリーに連携を取ることで、円滑な情報連携が可能となり、滞りなく業務を進めることが出来る。</li> </ul>

～ 顧客折衝力 ～

地権者との折衝を愚直に行い  
県道の整備実現に貢献した取り組み

【概要】

- ✓ 県道の整備が3年間難航していた
- ✓ 新卒入庁し、半年以内に立ち退きを促すことに成功
- ✓ 用地取得のプロになる

【実績】

- ✓ 県道の整備を始められる状態にした
- ✓ 気難しい地権者との折衝をやり切った
- ✓ 用地に関する知見を得る事ができた

【取り組んだアクション】

1. 引継ぎで状況を把握

- ・前任者から引継ぎを受ける中で課題を2点特定。
  - やみくもに仕事を進めるのではなく、課題を捉えることで遠回りしない。
- ① 前任者から地権者へアプローチしても話すら聞いてもらえないこと。
- ② 地権者が役所組織に対して不信感を抱いていた。
  - まずは地権者と信頼関係を構築することを最優先事項にした。

2. 地権者の元へ足繫く通う

- ・立ち退きについて説得するよりも、地権者のことを知ることに3か月間専念する。
  - 地権者の人となりを知る必要がある。
- ① 地権者のその土地に対する想いをヒアリング
- ② たとえ同じ話を何度されても、親身に聞くことに徹する
  - 信頼関係を得るためには、地権者のバックグラウンドを何度もヒアリングする。

3. 将来の生活について、未来志向で話を進める

- ・立ち退きは役所の都合ではなく、地元の方全員の生活が豊かになることに気づいてもらう
  - 役所の都合で話を進めても反感を買うことになる。
- ① 県道が開通することで、地元全体の利便性が高まることを伝える。
- ② 将来的にどのような事業が進むのか、具体で伝えることでイメージを膨らませる。
  - これまで実現出来なかったことを想像してもらい、未来の生活についてビジョンを見せる。

4. 補償の話を懇切丁寧に行う

- ・立ち退きされた際、具体的にどのような補償を受けることが出来るか、懇切丁寧に説明する。
  - 補償制度は複雑難解なため、地権者にとって心理的不安が高い。
- ① 言葉で説明するよりも、補償について簡潔にまとめた資料を作成しお渡しする。
- ② 聞かれた質問について誠実に回答する。
  - 誠実に対応することで県職員への不信感を払拭する。

結果. 難航していた用地の取得に成功

- ✓ 難航していた県道の整備が着手できる状態になった。
- ✓ 地権者との信頼関係の構築に成功し、最終的には感謝の言葉を頂いた。

■ 資格

- ・普通自動車第一種運転免許(20●●年●月取得)
- ・TOEIC(L&R)800点(20●●年●月取得)
- ・宅地建物取引士(20●●年●月取得)

以上